

2026 JWFA WINGFOIL RACING JAPAN CUP 第1戦に参加させていただき、オープンクラスで優勝することができました。

今大会は、超微風かつシフティーという難しいコンディションの中で行われ、自分にとっては強みと課題の両方を改めて確認できる大会になりました。

日本でのウイングレースは今回が2回目で、4年ぶりのレース参戦でもあったため緊張もありましたが、今の自分がどこまで通用するのかを確かめる気持ちで挑みました。

その中で結果を残せたことは、大きな自信につながりました。

今回使用した道具は、いわゆるレース専用の特別なギアではなく、

JP AUSTRALIA R-WINGER 80L

NEILPRYDE FLY IV 6.5

という、ミッドレングスタイプのボードとオールラウンドに使えるウイングの組み合わせでした。

普段の自分はレース練習を専門的にしているわけではなく、ジャンプをメインに、波乗りやフリーライドも楽しみながら乗っています。

そうした普段のスタイルや乗り方が、レースの中でもしっかり通用したことは、自分にとってとても嬉しく、大きな収穫でした。

1レース目はかなり風が弱く、スタート時にフォイリングできていたのは4人ほどでした。

自分のホームゲレンデはガスティーかつ微風コンディションであることが多く、普段からそうした環境で練習している経験を活かして、スタート前からしっかりフォイリングさせたまま走り切ることができました。

途中、風が一時4ノットまで落ちる場面もありましたが、6.5㎡のウイングと625のfoilで最後まで浮き続けられたのは大きな収穫でした。

ただ、フィニッシュマークを間違えてしまい、結果は2位フィニッシュとなりました。

それでも、このセットであれば今後の超微風レースでも十分にトップ争いができる手応えを感じました。

2レース目はスターボードスタートを選択しました。

自分は上マークまでに2回タックを入れましたが、トップ選手たちはポートスタートから1回のタックで上マークまで到達しており、ここで大きな差を感じました。

特にフォーミュラークラスの選手とは、上り角度の差が印象的で、同じレースの中でも道具だけでなく、ライン取りや判断の精度が結果に大きく影響することを実感しました。

3レース目はスタート自体はかなり良く、理想に近い入りことができました。

ただ、その後を上らせる角度を高くしすぎてしまい、スピードが足りず、結果としてトップ選手との差が広がってしまいました。

自分の今の道具では、スピードを優先するとウイングがオーバーになりやすく、さらにマストも短いため、リスクを考えて角度を優先しましたが、それが今回は良い判断ではありませんでした。

このレースでは、自分の道具でどこまでスピードを出して攻めるべきか、そのバランスをもっと詰める必要があると感じました。

今回はオープンクラス優勝という結果を残すことができましたが、次回はさらにレベルの高いフォーミュラークラスでの入賞を目標にしたいと考えています。

今回の大会では、超微風という難しいレースがあったことに加え、トップ選手たちも新しいギアにまだ完全には乗り慣れていない様子があり、苦戦している場面を見ることができました。

今回は自分がうまく流れに乗れた部分もありましたが、トップ選手たちは次のレースでは必ず仕上げてくると思います。

その中でしっかり入賞争いができるように、自分もさらに練習を積んでいきたいです。また今回参加してみて、スラロームやダウンウインドのレースであれば、もっと戦える可能性があるとも感じました。

今回の大会では、自分は若手側の立場での参加でしたが、レディースクラスには中学生の女の子の選手も参加しており、しっかりレースを完走している姿にとっても驚かされました。

この選手たちが数年後にどのような選手になっていくのか、とても楽しみです。

若い世代の選手が出てきていることに、競技の未来を感じました。

2日目はノーレースとなりましたが、その後に今後のレースのあり方について、選手と運営の皆さんと一緒に考える場を設けていただき、とても有意義な時間になりました。

ただレースをするだけでなく、競技をより良くしていこうという空気を感じられたことも、今回の大会の大きな価値だったと思います。

また今回は、もともとレースに参加する予定ではありませんでした。

諸事情でしばらくレースから離れていたこともありましたが、学連の先輩である上野さんに背中を押していただき、レース1週間前にエントリーしました。

エントリー後はホームゲレンデと一緒に練習していただき、コース取りやスタートの仕方まで確認していただきました。

さらに会場でも、日本の選手やメーカーの方々を紹介していただき、安心して大会に臨むことができました。

今回、自分は特別にレース向けの体作りをしているわけでもなく、普段から多くの人を使うような道具で挑んだ中でこの結果を出せたことが本当に嬉しかったです。

だからこそ、ウイングフォイルをやっている人なら誰でもレースに参加して楽しめるし、十分に上を目指せる可能性があると感じました。

もっと多くの人にレースへ参加してもらい、みんなでウイングフォイルを盛り上げていけたら嬉しいです。

最後になりますが、大会を開催・運営して下さった皆さま、本当にありがとうございました。

そして、日頃から支えてくださっている皆さまのおかげで、こうして挑戦し、結果につなげることができました。

次回の第2戦でもしっかり結果を残せるよう頑張ります。

引き続きよろしく願いいたします。

秦野龍彩

所属: ラナイズビーチクラブ/ CONSTANTWIND